

◎基本情報

事務事業名	なると観光ブランド化推進事業 (鳴門海峡の世界遺産化に向けて)		担当部署	経済建設部 観光振興課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業 期間	開始	平成 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">▼</span> 21 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なると			終期
(小項目)		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり			
基本事業	1	観光ブランドづくり			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民及び観光客						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	広域エリアからの更なる誘客を図るため、「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産への登録を目指す取り組みを進めるなど、市内各観光地のブランド化を推進する。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会を中心に、民間の推進団体等と連携し、学術調査や普及啓発活動など世界遺産登録に向けた取り組みを推進する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		観光入込客数	2,500,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	協議会においては、更なる調査が必要な項目について、文化・自然両分野の学術調査を進めた。普及啓発活動では、前年度に引き続き、「鳴門の渦潮」をテーマにした文化コンクールを実施し、全国から2,799点の応募があった。また、これまでの学術調査の結果を踏まえ、鳴門の渦潮の歴史的・文化的価値を次世代に語り継いでいくため、「鳴門の渦潮学」と題した語り部養成講座を初めて開催し、延べ173名が受講した。平成30年3月には、イコモス国際学術委員会委員長の「イ・ヘウン」氏を講師に迎え、鳴門市で初めて国際フォーラムを開催し、多くの方にご参加いただいた。 市においては、ARを使用したパンフレットを活用し、県内外でPRを推進するとともに、鳴門海峡と四国八十八箇所を巡る旅行商品の企画・造成に対する助成を行った。また、南あわじ市「島びらき」、本市の「渦開き」を共同開催するなど、世界遺産化に向けた取り組みを推進した。						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
活動指標	指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
	1	実施事業数	7	8	8	8	8	回
成果指標	観光入込客数		1,968,150	1,885,894	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			94.3	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり			事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり	

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	0	0	0	0	3,000	3,000
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	3,000	3,000
		決算額	0	0	0	0	2,990	2,990
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)	総人件費		総事業費		
		1.0	0.1	7,483	10,473			

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：なると観光ブランド化推進事業(鳴門海峡の世界遺産化に向けて)】

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	3,000	2,990	3,000	3,000	3,000
	うち一般財源	3,000	2,990	3,000	3,000	3,000
	人件費	7,337	7,483	7,483	7,483	7,483
	総事業費	10,337	10,473	10,483	10,483	10,483

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		世界遺産登録が実現すれば、観光資源のブランド化につながり、これまで以上に、鳴門公園を中心とした観光入込客数の増加が期待できる。
	効率性	B:概ね効率的だった		世界遺産登録を実現するためには、役割分担などを踏まえた官民連携による長期的な取り組みが必要である。
②成果に対する評価	指標名	観光入込客数		昨年に比べ観光入込客数がやや減少している。推進協議会での活動を中心に、これまで以上に普及啓発活動などの取り組みを推進する必要がある。
	目標	2,000,000	人	
	実績	1,885,894	人	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		概ね目標を達成できたことから、B評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	世界遺産の登録数が急増している状況を踏まえ、ユネスコにおいては世界遺産登録を各国1件ずつに制限しており、これまで以上に登録へのハードルが高くなっている。ユネスコや国等の動向を注視しながら、長期的な視野に立った取り組みを進める必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	協議会においては、学術調査における基礎的調査結果報告を踏まえ、本格調査を実施する。また、協議会構成団体等とも連携し、地域住民等を巻き込んだ普及啓発活動を推進する。市においては、県内外のキャンペーン等でPR活動を実施するとともに、鳴門海峡と四国八十八箇所を巡るツアーに対する助成を行い、機運醸成を図る。			
	H31年度	平成30年度の反省点等を踏まえ、事業の見直し・検討を行う。			